

渡邊さんが文部科学大臣賞



県立郡山養護学校で校長を勤め、特別支援教育振興の功績が認められた渡邊世子さん(都路町)が、文部科学大臣賞を受賞しました。表彰式は6月25日、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開かれた第50回記念全国特別支援学校研究大会の席上、行われました。渡邊さんは教員として33年勤務。現在は退職し、講演活動や仮設住宅の避難者を訪れ、ボランティアで切り紙教室を開催しています。

JICAの豊田さん表敬訪問



独立行政法人国際協力機構(JICA)青年海外協力隊の本年度第1次隊ボランティアとして派遣される豊田泰洋さん(船引町・写真中央)が6月25日、富塚市長を表敬訪問しました。豊田さんは東京農業大学大学院卒。いったん就職しましたが、「海外で自分の力を生かしたい」と一念発起してJICAへ応募しました。7月からブータン王国のジャカル農業試験場に着任し、2年間、家畜飼育を行います。

浴衣で夏祭りを楽しもう



橋本真由美さん(滝根町)を講師に迎え、浴衣着付け講座が7月3日と10日の2日間大越公民館で開かれました。夏本番を迎え、夏祭りやイベントなどで浴衣を着る機会が増える時期に、参加者たちは着くずれしにくい浴衣の着付けを学びました。参加した受講生からは「今年は娘や孫たちに着せてあげたい」との感想が聞かれました。

芸術と桜桃を満喫!



常葉公民館の女性学級「開講式および第1回学習会」が6月15日に行われました。第1回目の学習会は移動教室で、片岡鶴太郎美術庭園を鑑賞した後、さくらんぼ狩りを体験しました。当日はさくらんぼ狩りのオープンイベントがあり、とてもにぎやかな中、甘くておいしい「赤い宝石」を満喫しました。また、浄楽園では菖蒲の花が見頃を迎え、ゆったりとしたひと時を過ごしました。

素晴らしい景観を将来へ



都路地域第1～5行政区住民約220人が6月16日、旧都路第二中学校跡地の緑化活動として下刈り作業を行いました。この場所は岩井沢城跡のなごりがあり、風光明媚な景観地として「陣場山」と称されています。「陣場の松」があり、岩井沢地区の象徴的な存在にもなっています。下刈り作業は昨年も行われ、この景観を後生に残したいとの思いから、地元では今後も計画的に整備していく予定です。

スポーツ大会出場選手に激励金

全国の大会などに出場するスポーツ選手一人一人に7月16日、富塚市長から激励金が交付されました。

●第40回日独スポーツ少年団同時交流派遣事業・松本裕治(指導者)、佐久間侑美(団員・小野高) ●小学生・中学生全国空手道選手権大会・登藤将聖(船引中)、菊地結愛(緑小)、田村優奈(船引南小)、柳沼蓮(船引南小)、田村日比輝(船引南小) ●全国高等学校総合体育大会▷アーチェリー・本田美咲(田村高)、遠藤聡一郎(田村高)、尾澤美弥(田村高)、早坂桂太(田村高)▷ウエイトリフティング・吉田翔(田村高)、佐藤蓮治(田村高)、佐々木健児(田村高)、菅野直人(田村高) ●全国高等学校定時制通信制体育大会▷ソフトテニス・白岩佑華里(郡山萌世高)、吉田歩(郡山萌世高)、舟生奈穂子(郡山萌世高)



昆虫の王様と触れ合う



こどもの国ムシランドのカブトムシ自然観察園で7月12日、放虫式が行われ、市内の園児たちがカブトムシと触れ合いました。式には、市内8つの幼稚園や保育所の年長児168人と関係者、田村警察署復興支援係員などが出席しました。常葉幼稚園の園児40人が全国に向けたメッセージを発表し、富塚市長や猪瀬議長、各園の代表などがテープカットしました。参加者全員で640匹をコナラ林に放つと、ドーム内には子どもたちの元気な声が響きました。

大越駅周辺の清掃活動



大越駅友の会役員など10人が6月27日、大越駅とその周辺にある樹木の枝切りや草刈り、花壇の草取りなどの清掃を行いました。今回のボランティア活動は、「磐越東線の活性化を通じて地域の発展に貢献したい」との思いから実施されました。

